



広報



2022年

つるい



728号

～地域とタンチョウが共生するむら～



the most beautiful
villages
in japan

鶴居村は
「日本で最も美しい村」連合に
加盟しています



鶴居村マスコットキャラクター
「つるぼー」

目次

村政・教育行政執行方針	2～7
ゼロカーボンシティ宣言	8
鶴居診療所について	9
むらの話題	10～11
ふるさと創生中学生派遣交流事業について	12～13
お元気ですか保健師です	14
消防署からのお知らせ	15
みんなの掲示板	16～17
鶴居村図書館だより	18
シリーズタンチョウ	19

3月8日、第1回鶴居村議会定例会が開かれ、大石村長が令和4年度の村政執行方針、村上教育長が教育行政執行方針を述べました。

それぞれの執行方針について概要をお知らせいたします。

全文につきましては、村ホームページに掲載してありますのでご覧ください。

令和4年度 村政執行方針



鶴居村長 大石 正行

誰もが住みやすく・持続可能な 地域を創造

～ウイズコロナ・ポストコロナへの新たな挑戦～

新型コロナウイルス感染症が国内で発生して以来、すでに2年余が経過し、未だその脅威は衰えることなく、今日までコロナ対策に終始してまいりました。

訪日外国人の減少や緊急事態宣言やまん延防止等重点措置による飲食店の利用制限などにより、宿泊や飲食業をはじめ村内事業者の経営は圧迫され、さらに学校給食の休止や外食需要の低迷による生乳余剰により、順調に増産を続けてきた酪農情勢が厳しい環境下に置かれています。

こうした中、令和2年に実施された国勢

調査人口の結果は、国民総人口の減少とともに、道内の人口もおおよそ16万人の大幅な減少となる中、本村は2558人と前回調査から24人の増加へと転じました。

このことは、先人・先達の方々や今を生きる村民の弛まぬ努力や長い道のりを経て、築き上げてきた酪農をはじめとする産業の発展、そして強い志のもとで育んできた「美しい村づくり」の意識が生んだ尊い結果であると受け止めています。

私は、鶴居村が持つ個性や強みにさらに

磨きをかけ、誰もが住みやすく、そして持続可能な地域を創造していくことがウイズコロナ・ポストコロナへの新たな挑戦と考えており、3つの基本姿勢をもって、令和4年度の行政運営や村づくりに臨みたいと考えています。

「安心の暮らしを確保」
「引き継がれた鶴居村の基盤、価値を守る」
「時代の潮流を捉えた取組の推進」

この3つの基本姿勢を堅持し、主要となる施策の具体的内容について、つるい未来創造プラン（第5次鶴居村総合計画）基本構想の6つの体系に沿って述べさせていただきます。

地域特性を活かした活力ある むらづくり

【農業振興について】

- 自給飼料の確保に向けた草地改良促進事業による支援に努め、新たに草地更新時の電牧設置や鳥獣被害対策等に対する支援の実施
- 安全安心で良質な生乳の生産向上を図るため、乳質改善奨励事業の推進
- 猟友会などの連携を強め、エゾシカの捕獲やカラスなどの鳥獣駆除対策の実施
- 酪農ヘルパー利用組合や乳牛検定組合などの運営支援の実施
- 災害発生時の給水対応のため、貯水タンクの設置支援を釧路丹頂農協と連携し推進

●地域集落主体の実行計画に基づき、条件不利な農地特性を改善させながら、多面的機能の確保を図る農業生産活動などを支援

●酪楽館などの施設機能を十分に生かし、製造量や販路を拡大

【林業の振興について】

●森林整備計画等に基づく、植林や間伐・下刈りなどの施業を推進

●森林環境譲与税等を活用し、民有林の森林施業を支援

●林業専用道の整備に取り組み、奥支雪裡上線の路網整備を計画

●村民の森キャンプ場の電気設備の老朽更新や開設期間を延長し利用を促進

【商工業の振興について】

●商工業者等への緊急融資や経営支援に努め、商工会の活動運営をはじめプレミアム商品券発行事業や基金増資への支援

●事業者の経営強化や新規創業による雇用の創出などの取り組み、起業化等の支援の推進

【観光の振興について】

●サイクリングなどの新たな観光需要の掘り起こしやSNSなどを活用した情報発信の充実に努め、今後の観光需要の回復期に備えた取り組みを推進

●鶴居たんちようプラザの特産品等の販売を促進し、鶴居どさんこ牧場や鶴居運動広場などの計画的な施設充実に努めるほか、鶴居産ぶどうによるワイン醸造に取り組み、今後の展望の検討

ともに支え合い生き生きと暮らせるむらづくり

【健康づくりの推進について】

●新型コロナウイルス感染予防に関する情報の提供や関連資料の確保の実施

●各種検診や脳ドック検査など、生活習慣や栄養・食生活の改善などに向けた支援の実施

【地域医療の充実について】

●鶴居診療所の管理運営を指定管理者制度により医療法人資生会に委ね、つるい養生邑病院との連携や歯科診療所を支援

●国民健康保険税の平準化に向け、被保険者に対する保険税の公平な負担などに配慮し、段階的な税率等を改正

【子育て環境の充実について】

●出産から保育、医療に至る一体的な支援と、乳幼児から高校生に対する医療費の無料化や出産祝金、就学祝金を贈呈するほか、産前・産後ケアや健診、新生児の聴覚検査等を支援し、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を充実

●食を通じて子どもたちの成長を促し、子育て世代の負担を軽減する給食費用の完全無償化を実施

●園児送迎用バス1台の更新

【地域福祉の充実について】

●高齢社会の進展などによる多様な村民ニーズに対応するため、社会福祉協議会や各種団体等と連携し村民福祉センターの利用の促進

●ノーマライゼーションの普及啓発や関係団体の育成、要保護世帯の早期把握と支援の実施

●高齢者が安心して生活し、健康で生きがいを持って社会参加ができるよう、老人クラブや生活支援体制整備事業における定期サロン開催の支援

【介護保険・障がい者福祉の充実などについて】

●第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づく、事業の推進や適正な保険給付、介護予防事業の充実

●訪問介護や通所介護施設「ほのほのセンター」の運営の充実に努めるとともに、介護予防や認知症対策、成年後見制度等の介護サービスの推進

●事業者や関係機関などと連携を図り、必要な各種サービスの提供に努め、障がい児などへの専門的療育の機会確保や発達支援を充実

安心・安全で快適に暮らせるむらづくり

【住生活環境の確保について】

●鶴居B団地公営住宅の外部改修工事、幌呂団地公営住宅の外装補修工事等により、住宅の長寿命化を実施

●民間賃貸住宅建設促進支援補助事業、地域住宅振興対策支援補助事業による新たな集合住宅の建設に係る支援の実施

●村内に点在する空き家対策の指針とする「空き家等対策計画」の策定

●下幌呂希の杜団地等の販売を促進し、

輝く住ま居る支援事業による持ち家の推進や移住体験住宅の利用促進、空き家バンクモデル助成事業などによる移住・定住を促進

●住宅地が不足する鶴居市街地に、新たな宅地の確保に向けた取り組みの検討

【道路網の整備、交通機関の確保について】

●村道5路線の舗装補修工事の実施、新総合体育館建設に伴う道路の新設や中雪裡下久著呂線の線形改良工事を実施

●長寿命化計画等に基づき、村道中雪裡下雪裡線本流橋の補修工事や橋梁点検を実施

●道路沿線の雑草や支障木の除去など、景観に配慮した道路環境の向上

●村民の暮らしや産業活動を支えるため、国や北海道と連携を図りながら冬季間の除雪による安全な村道の通行確保の実施

●国道や道道の路面補修などの道路管理や道河川の護岸改修、堆積土砂の撤去などを関係機関に強く要請

●民間バスによる釧路・鶴居線などの路線維持に努め、釧路市内への高校通学バスの運行維持の推進

●幌呂地域デマンドバスの利用者視点に立った運行の実施

【防災及び交通安全対策について】

●災害用備蓄品の計画的な購入や地域防災体制の検証と見直しの実施

●災害発生時などに安全な飲料水を供給するため、村内3箇所の避難所に応急給水タンクを設置

●防災訓練の実施や体制の整備に取り組み、避難所となる役場庁舎を有効活用するための整備を実施

●消防団員の確保や鶴居消防署体制の充実に努め、釧路北部消防事務組合における119番通報の共同運用化や出動体制の強化を図るため、デジタル無線設備の統合に向けた整備の実施

●消防水利未整備地区の解消のため、支幌呂地区に耐震型貯水槽を新設

●第3分団に配備する水槽付消防ポンプ自動車を更新

●釧路警察署や交通安全運動推進協議会等の関係団体等と連携し、交通安全運動の推進

【情報通信環境の充実について】

●新築家屋等に接続する光ケーブルの敷設や移動通信環境の向上など、今後

も情報通信基盤の整備の充実

●災害時や外出時のスマートフォンへの情報配信によるIP端末告知放送の利用拡大

豊かな自然と共生する美しいむらづくり

【自然環境の保全と景観形成について】

●豊かな自然や美しい景観を後世に引き継いでいくため、自然環境と共生し地域資源を守り育てる取り組みの促進

●国によるタンチョウ生息地の分散化に向けた協議が進む中、今後も村民総意のもとで「タンチョウ鶴居モデル」の実現に向けた活動計画を検討

●市街地を含めた地域全体の特性を生かした景観づくりに向け、村民との協働によって景観条例や計画を策定

●太陽光発電事業の利用促進に対する自然環境や美しい景観等との共生や調和の実施

●地域や団体等による環境保全や美化活動の醸成のため、「日本で最も美しい村」連合や加盟村との連携を深め、「(仮称)美しい村づくり推進協議会」

の設立に向けた組織づくりの実施。

【上水道・生活排水処理の対応について】

●安心安全な水道水の供給に努め、幌呂地区における水量を安定的に確保するため、新たな水源調査を実施

●施設の適切な管理と安定した排水機能の維持に努め、合併処理浄化槽による水洗化機能の確保に向けた設置支援の実施

●両事業の特別会計において、法令に基づく公営企業会計への円滑な移行に向け、固定資産の適正な管理や事務体系的の確立

●今後の健全な事業経営や適正な受益者負担の在り方など、経営改善や強化に向けた協議を推進

●村民啓発による排出抑制や減量化、再資源化にごみ処理やリサイクルの取り組みの実施

●し尿処理世帯の減少に伴う今後の収集体制などの在り方について検討

豊かな人間性を育むむらづくり

【生涯学習の推進について】

●本年秋の開館に向けた新総合体育館の準備に万全を期し、スポーツや運動

を通じた地域活力を生む施設として適切な運営の実施

●村民の体験や文化・スポーツ活動等を通じて、創意工夫した学習機会の確保の実施

●旧鶴居村営軌道の北海道遺産による価値なども生かし、地域の歴史的な魅力や特性を高めるための保存や活用方法等の検討

【学校教育の推進について】

●総合教育会議における情報の共有を図り、教育委員会等と深い連携のもとで村内小中学校の運営や施設管理を支援

●特別支援員等の配置や村外の特別支援学校小中学部に在籍する児童生徒に対する就学を支援

●高等教育による成長を促し学業経費の負担軽減を図る高等学校等人材育成支援事業や教育資金利子補給を実施

●老朽化が進む鶴居中学校の長寿命化や施設拡張を図る改修・改造に向けて、調査設計を実施

●国のGIGAスクール構想によるICT教育の推進に一層取り組み、学校給食費用の完全無償化を実施

みんなで歩む協働の むらづくり

【地域づくり・地域間交流の推進について】

●地域おこし協力隊員の増員配置や地域活動を支援し、受講生等の確保に努めながら地域人材の成長を促す「村づくり塾」を開講

●ふるさと納税に係る取扱い業務をはじめ村所有施設の管理運営、さらに地域内で生ずる需要などで経済循環を施す地域密着型の「(仮称)むらづくり会社」設立を支援

●中幌呂地域に加工体験機能を有する交流施設を整備し、村内地域に有する公園機能の充実

●本村出身者等で組織する釧路鶴居会や本州在住鶴居会、札幌ふるさと鶴居会との交流などを通じて活動を支援

【広報、広聴の取り組みについて】

●村政懇談会や各種団体、村民等からの意見を聴取し、村広報誌の充実や一新した村ホームページ、SNSを活用した情報発信など、行政情報等の迅速な提供の実施

【行財政運営の推進について】

●国や北海道と十分な連携を図り、多様化した行政事務や村民要望等に対応するため、職員の研修派遣や連携体制の充実、関係機関や企業との連携による人事交流など、組織力の向上や職員育成確保の実施

●各公共施設等の適正な管理や省エネルギー化に努め、役場庁舎の機能改善や延命化を図るため、エレベーターの設置やバリアフリー化、新たな保健相談室の設置、換気設備や暖房配管の更新など、庁舎全体の改修工事の着手

●利用形態の多様化や設備の老朽化などに対応するため、総合センター機能の改善に向けた詳細調査を実施

●財政運営については、行政経営の意識を高めながら、経費節減による事務事業の執行や村税をはじめ収入的確な確保や既存事業の検証などを進め、財政基盤を維持

●ふるさと納税については、地方税法に基づく適切な運用を図りながら、地元事業者等との連携のもとで寄付者の善意に感謝する返礼品の充実や商品開発等の実施

結びに、私は、これらの施策を推進するにあたり、「つるい未来創造プラ

ン」のテーマで示す「協働による新たな時代への挑戦」の気概を持ち、鶴居村の未来に村民の幸せがあることを信じて臨むものであります。

「チャレンジして失敗を恐れるよりも、何もしないことを恐れる」、この格言は、イノベーションを繰り返しながら成長した本田技研工業の創始者本田宗一郎氏が発した言葉です。

何かを待っているのでは、様々な事象の移ろいが早いこの時代に大きなチャンスや機会を逃してしまいます。

今日、コロナ禍の社会が長らく続き、「感染しない、感染させない、拡大させない」ことで、消極的な行動が日常のものとなりつつあります。

しかし、我が鶴居村には、この地に眠る先人・先達の方々が築き上げた大地をはじめ酪農や暮らしを支える自然の恵み、そして村民の郷土愛が育まれています。

私は、任期後半を迎えるにあたり、この地に蓄積された潜在力を引き出しながら、慎重さや緻密さを持ち続け、失敗を恐れず、村民が夢や希望を抱き、新たな展望を切り拓く村づくりに取り組んでいく所存であります。

令和4年度 教育行政執行方針



鶴居村教育長 村上 明寛

「鶴居村に誇りと愛着をもち、豊かな 人間性を備えた『鶴居びと』の育成」 と感染症対策と学びの保障の両立

新型コロナウイルス感染症の克服が、依然として社会全体の大きな課題となっており、社会の急激な変化と相まって、一段と先を見通すことが困難な時代といえます。

こうした中、子供たちが持続可能な地域の創り手としての資質・能力を身につけ、幸福な人生を歩むことができるようにするため、学校教育の果たす役割はこれまで以上に重要となつていくと認識しています。

また、人生100年時代といわれる中で、社会教育には、誰もが生涯にわたる必要な学習を行い、その成果を生かすことのできる生涯学習社会の実現に向けた取組が求められていると認識

しています。

こうした認識のもと、教育行政の執行に臨む基本姿勢を2点申し上げます。

1点目は、鶴居村総合計画に掲げる「鶴居村に誇りと愛着をもち、豊かな人間性を備えた『鶴居びと』」を育てることを基本目標として、教育行政を推進してまいります。

2点目は、感染症対策と学びの保障の両立です。子供たちや村民の命と健康を守ることを第一に、きめ細かな感染症対策を行いながら、子供たちや村民の学びを止めることなく、学校教育・社会教育の施策を推進します。

社会で活きる力の育成

児童生徒に知・徳・体をバランスよく育むため、学習指導要領の趣旨に沿って、各教科等を通じて「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「学びに向かう力、人間性」を育成し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた指導方法の工夫改善を図ります。

豊かな心の育成

- 【主な施策】
- 多様な価値観に接する中で自他の違いを認め合える人間力の育成を目指し、学校の教育活動全体を通して「豊かな心の育成」への取り組み
 - 学校が児童生徒一人ひとりの状況を的確に把握し、対応ができるよう、生徒指導・教育相談体制の充実
 - 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた指導方法の工夫・改善を図り、児童生徒の学習の状況や学力の定着状況を把握・分析し、教科指導等の充実・改善
 - 村内5校の英語の授業でデジタル教科書を使用するなど、「情報活用能力」の育成に取り組み、ICTを活用した教育を推進
 - 道教委の事業を活用して、中学校の教師による小学校3校の高学年の理科と1校の高学年の音楽を教科担任制で実施し、教科指導の専門性向上と小学校と中学校との円滑な接続を実施。
 - 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため学級閉鎖や児童生徒の出席停止などが想定されることから、オンラインを活用して、児童生徒の健康観察や学習を支援
- ### 健やかな体の育成
- 【主な施策】
- 運動の楽しさや健康の保持、体力の

向上など「健やかな体の育成」への取り組み

- 鶴居村教育研究所と連携して、体育の授業改善や体力向上の取組を推進
- 感染予防のための「保健管理」を、子供たちに「保健教育」として定着させる取り組み

特別支援教育の充実

- 【主な施策】
- 児童生徒の障がいに応じた特別支援学級の設置や必要な支援員の配置をはじめ、教材・教具の確保やICT環境の整備などを推進
 - 一人ひとりの児童生徒の特性や状況を詳細かつ的確に把握し、学校全体で指導していくための体制づくりの支援
 - 「特別支援学校等就学支援事業」により、村外の特別支援学校の小中学校部に在籍する児童生徒の学びを支援
- ### 読書活動の推進
- 【主な施策】
- 図書館司書による本の選定や各図書館の蔵書の整備を進め、「読書活動の推進」への取り組み
 - 学校図書館の図書標準の達成、計画的な図書の更新、新聞の複数紙配備などが図られるよう、学校と一体となって学校図書館の計画的整備が進むよう必要な取組の推進
- ### 教育環境の整備
- 【主な施策】
- 老朽化が進む鶴居中学校の校舎の大規模改修に向けて、教育活動の充実に資する施設設備の整備となるよう実施設計を実施
- ### ふるさと・鶴居への誇りと愛着の醸成
- 鶴居村に誇りと愛着をもち、豊かな

人間性を備えた「鶴居びと」を育てるため、地域資源を活用した学習の充実を図るとともに、地域の産業を理解し、望ましい勤労観や職業観の育成を図ることが重要です。

このため、豊かな地域資源を活用するなどして、ふるさと教育の充実に取り組めます。

ふるさと教育の推進

【主な施策】

●小学生用の補助教材「郷土読本つるい」を活用したふるさと学習を推進
●学校給食で地場産物を積極的に活用し地域理解を促進する「ふるさと給食」の充実

●「キャリアパスポート」を学校段階を越えて活用し、社会的・職業的自立に向けた能力の育成を実施

●タンチョウ保護や共生の在り方を示す「タンチョウ鶴居モデル」の実現に向け、国や北海道との連携のもと、支援の実施

●旧鶴居村営軌道について、貴重な文化遺産としての保存や活用の在り方について、引き続き検討

地域に立脚した学校づくりの推進

学校教育の質の向上を図るためには、教職員間、学校間、学校と地域の連携・協働を推進することが必要です。

このため、「コミュニティスクール制度」や「学校支援地域本部事業」を効果的に推進し、「あいさつ運動」の推進や通学路の安全確保など、地域全体で子供たちの成長を支えていく取組を進めます。

また、道教委の事業を活用して、令和3年度から鶴居中学校を中核校とし

て村内5校が相互に連携して、学習指導の充実や働き方改革の推進などの包括的な学校改善に取り組んでおり、引き続き、鶴居中学校に追加される2名の教職員を中心に小中連携や学校間連携を推進します。

さらに、喫緊の課題である学校における働き方改革については、校務・教務の効率化を進めるため各校に「校務支援システム」を導入するとともに、ICT支援員の配備を継続し、各校のICT運用を支援します。また、各校の事務職員がコディネーターとなつて、教員が本来担うべき業務に専念できるよう、学校全体の業務分担の見直しや効率化を進めます。

生きがいを創造する生涯学習の推進

人生100年時代を迎え、村民の皆様が生涯を通じて学び、その成果を生かせる環境を作ることが重要です。

このため、村内関係団体と連携し、多様な学習機会の提供と住民同士のつながりを促進します。

女性団体・高齢者団体への支援

【主な施策】

●鶴居村女性団体連絡協議会が各種事業を積極的に実施できるよう、支援・協力の実施

●きめ細かな感染症対策のもと、安心して学ぶことができるよう寿大学の支援

青少年健全育成

【主な施策】

●「わんぱくアドベンチャークラブ」など、子供たちの自主性や創造性を大切にした体験活動の機会を提供できるよう取り組み

●スポーツや文化活動に優れた成績をあげた青少年への表彰事業の継続実施
●「鶴居学びの広場」事業を通して、村民のサークル活動を支援、教育委員会主催の「生涯学習講座」により多様な学習機会を提供

●兵庫県市川町への「ふるさと創生中学生派遣交流事業」については、交流先の学校が閉校となったことから、継続事業として、「日本で最も美しい村」連合に加盟する赤井川村との交流を実施

心に豊かさと潤いをもたらす文化活動の機会の確保・充実

村民が潤いと豊かさに満ちた人生を送るためにも、文化・芸術が日常生活の中で身近な存在であることが大切です。

このため、本村の芸術文化活動の中心的な役割を担う鶴居村文化協会が文化祭をはじめとした多彩な活動を充実できるよう協力・支援をしていきます。

また、情報館が本村の生涯学習の中核的役割を果たすため、図書館機能の充実に取り組み、「図書館祭り」などの機会を通して、文化・芸術の情報提供を進めるとともに、作品の展示などを通して、村民の身近な芸術鑑賞の機会を提供できるよう取り組んでまいります。

心身の健康を育むスポーツ活動の機会の確保・充実

心身の健全な発達を促し、明るく活力ある地域社会を形成するうえで、スポーツの果たす役割は重要です。

このため、村民が生涯にわたり、様々な機会や場所において、自主的に自身の適性や健康状態に応じてスポーツを行うことができるよう取り組みます。

スポーツの普及

【主な施策】

●種目別のスポーツ教室を「鶴居アスリートクラブ」などの関係団体や指導者の協力を得ながら開催

総合体育館の建設

【主な施策】

●新総合体育館について、本年10月の開館を目指し、設備・備品の整備、指定管理者制度を活用した管理運営、利用料金など施設運用に向けた準備を推進

●開館後には村民や来村者に安心して親しんでいただけるよう、健康づくりや体力向上のための事業の準備を促進。

●社会教育全般にかかわって、少子・高齢化の進展やウイズコロナ・ポストコロナを見据え、子供たちや村民の文化活動・スポーツ活動の機会の確保も含め、社会教育の在り方について、次期「鶴居村社会教育中期計画」の策定を念頭に、課題等を検討

以上、令和4年度の教育行政の推進について、主要な施策を中心に具体的取組の概要について申し上げます。

ふるさと・鶴居に誇りと愛着をもち人間性豊かな「鶴居びと」を育成し、地域づくりの一翼を担うことが教育委員会会の使命ととらえ、教育委員会職員が一丸となってその使命を果たしてまいりますので、村民の皆様並びに議員の皆様のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

鶴居村は「ゼロカーボンシティ」の実現を目指します

鶴居村は持続可能なむらづくりを行うため、2050年までに三酸化炭素排出ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ宣言」を3月8日の第1回鶴居村議会定例会で行いました。

本村ではすでに地中熱を活用した冷暖房を鶴居村子どもセンターで導入するなど、ゼロカーボンシティに向けた先進的な取り組みを行っています。

今後もこうした取り組みを加速させ、様々な場面で実現に向け進めていきます。

「鶴居村ゼロカーボンシティ宣言」



鶴居村ゼロカーボンシティ宣言

近年、世界各地で豪雨や猛暑などがもたらす自然災害が頻発しており、その要因として地球温暖化が指摘されています。

2015年のパリ協定では、世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて2℃未満とし、1.5℃に抑える努力をすることが合意されました。

また、国はこの目標を達成するため、2020年に当時の菅総理は所信表明演説において、「2050年までにカーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言しました。

これまで本村は、家庭用太陽光発電設備や木質系バイオマスを燃料とした暖房設備の導入助成、公共施設への地中熱ボイラーの採用により、再生可能エネルギーの活用を推進してきたほか、二酸化炭素の吸収源である森林の整備を推進するなど、地球温暖化防止に取り組んできました。

私たちの鶴居村には、釧路湿原やタンチョウなど固有の美しい自然環境があります。この美しい自然環境に恵まれたかけがえのない私たちの故郷を未来に引き継いでいくためには、地球温暖化問題は私たち人間の活動に起因していることを村民一人ひとりが認識するとともに、村が一丸となって取り組む必要があります。

本村は、今年度策定した第2次鶴居村環境基本計画に基づき、省エネルギー対策や再生可能エネルギーの活用など、あらゆる施策を展開し、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」の実現を目指します。

令和4年3月8日
鶴居村長 天石 正行



近年、世界各地で豪雨や猛暑などがもたらす自然災害が頻発しており、その要因として地球温暖化が指摘されています。

2015年のパリ協定では、世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて2℃未満とし、1.5℃に抑える努力をすることが合意されました。

また、国はこの目標を達成するため、2020年に当時の菅総理は所信表明演説において、「2050年までにカーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言しました。

これまで本村は、家庭用太陽光発電設備や木質系バイオマスを燃料とした暖房設備の導入助成、公共施設への地中熱ボイラーの採用により、再生可能エネルギーの活用を推進してきたほか、二酸化炭素の吸収源である森林の整備を推進するなど、地球温暖化防止に取り組んできました。

私たちの鶴居村には、釧路湿原やタンチョウなど固有の美しい自然環境があります。この美しい自然環境に恵まれたかけがえのない私たちの故郷を未来に引き継いでいくためには、地球温暖化問題は私たち人間の活動に起因していることを村民一人ひとりが認識するとともに、村が一丸となって取り組む必要があります。

本村は、今年度策定した第2次鶴居村環境基本計画に基づき、省エネルギー対策や再生可能エネルギーの活用など、あらゆる施策を展開し、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」の実現を目指します。

鶴居診療所
 瀬川敏明所長 退任のご挨拶

地域医療を支えて十二年余

京都市で生まれ育ち四十歳の時に北海道で地域医療を志し家族三人で釧路に移住しました。

以来、道東の公立病院や厚生連で内科医を務めてきました。

コロナ禍では通常の診療業務に加えて予防注射・発熱外来・健診業務などすべてをこなすのが大変でした。

鶴居村立診療所で十二年を経て今年春定年退職となりましたが、後任の先生には若くて地域医療に熱意のある先生にお任せしたいと思えます。

「老兵は死なず、去りゆくのみ」
 マッカーサーが日本を去る時に残した言葉です。



4月から村立診療所が指定管理での運営に変わります

令和4年4月1日から村立診療所の運営が医療法人資生会による指定管理に変更となります。資生会は養生邑病院や、介護老人保健施設えんれい荘を運営し、デイサービスセンターの指定管理業務も受託しており、鶴居村の医療・介護を熟知した医療法人です。

このたび、鶴居診療所長をお引き受けすることになりました。押味和夫です。

鶴居村の人たちや自然に引き寄せられて、10年前から村に住んでいます。

診療所のモットーは、患者第一、Patients Firstにします。患者さんが最優先です。当たり前ですが、当たり前前することをめざします。

所長としてはちと歳がいますが、全力で頑張りますので、どうか宜しくご指導・ご鞭撻のほど、お願い申し上げます。



押味所長 経歴

- 1944年 青森県で生まれ、福島県で育つ 77歳
- 1971年 東京大学医学部卒業
- 1972年～ 米国で内科インターン、レジデント
- 1974年～ 自治医科大学アレルギー・膠原病科
- 1980年～ 東京女子医科大学血液内科、1992年 同教授
- 1994年～ 順天堂大学医学部血液内科教授
- 2008年～ 米国エーザイのボストン研究所で抗がん剤の開発に従事
- 2012年～ 鶴居村に移住

令和4年4月1日以降の診療受付時間等は下記のとおりです

診療医師及び診療受付時間			
曜日	午前	午後	診療受付時間
月曜日	押味医師	休診	8:30～12:30
火曜日	押味医師	森田医師	8:30～12:30 13:30～16:00
水曜日	押味医師	森田医師	8:30～12:30 13:30～16:00
木曜日	押味医師	森田医師	8:30～12:30 13:30～16:00
金曜日	第1.3.5金曜日	上田医師	9:50～12:30 13:30～16:00
	第2.4金曜日	数馬医師	8:30～12:30 13:30～16:00
土曜日	休診日		
日曜日	休診日		

村内小・中学校卒業式

(3月15日【中学校】、18日【小学校】)

村内の小学校中学校において、新型コロナウイルス感染症の影響で参加者を最小限に抑えるなどの感染防止対策が取られる中、卒業式が挙行されました。いつもとは違う形の卒業式のなかに、卒業生の成長した姿とそれを見守る保護者や先生方の暖かいまなざしがありました。



鶴居小学校



下幌呂小学校



幌呂小学校

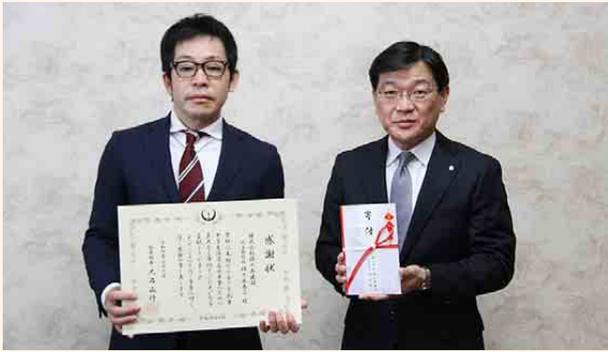


鶴居中学校



幌呂中学校

株式会社佐々木建設様から
寄附を頂きました



3月7日、村内企業の株式会社佐々木建設様より現金50万円の寄附をいただきました。

本村では鶴居村子育て支援施設や村道中雪裡下久著呂線などの村有施設の建設村道の整備を請負いただいています。

いただいた寄附はふるさと創生中学生派遣事業に充てられ、令和4年度からは「日本で最も美しい村」連合の加盟町村である余市郡赤井川村との中学生交流が予定されています。

株式会社釧路厚生社様から
寄附を頂きました



3月1日、創業50周年を記念して、釧路町に本社をおく株式会社釧路厚生社様から現金50万円の寄附をいただきました。

昭和47年に設立されて以降、本村においては、農業集落排水処理施設の管理業務や医療廃棄物・産業廃棄物処理業務を委託しており村民の生活に欠かせない事業を支えています。

いただいた寄附は村勢のために役立て、今後のむらづくりなどに活用していきます。

「みんなでムーブ リズム運動動画コンテスト」で審査員特別賞を受賞



▲鶴居小学校



▲幌呂小学校



▲下幌呂小学校

仲間と楽しみながら体力向上を目指すことを目的として道教育委員会が実施した「どさん子元気アップチャレンジ」の「みんなでムーブ リズム運動動画コンテスト」で村内小学校の3校合同チームが審査員特別賞を受賞しました。

3月14日には村上教育長が各小学校で表彰状を手渡し、受賞者達にお祝いの言葉を贈りました。



20年続いた兵庫県市川町との交流事業が閉幕



「鶴居村と市川町との交流を記念する会」

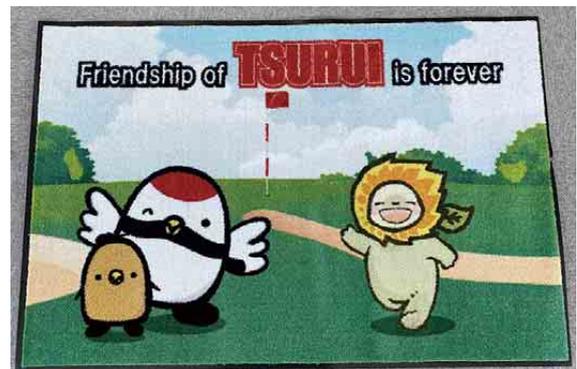
同じ学校名という縁から交流を重ねてきた「ふるさと創生中学生派遣交流事業」が、市川町立鶴居中学校の閉校により、20年間の交流を終えました。

市川町との交流は、平成12年度から始まり、市川町立鶴居中学校との交流をはじめ、姫路城・人と防災未来センターの見学、屋形区地蔵盆の参加や地域の方々との交流など、子どもたちにとって貴重な体験や経験をすることができました。

新型コロナウイルスの影響により、市川町への訪問は叶いませんでしたが、令和4年2月4日(金)に最後のオンライン(Zoom)交流を行い、岩見市川町長、山下教育長、楠田同窓会長の3名、村からは、大石村長、長尾副村長、村上教育長が参加しました。

岩見町長は、鶴居村の子どもたちの印象、交流時の思い出、20年間の交流に対する感謝とお礼の言葉をいただきました。

大石村長からは、20年間の交流の受け入れや地域全体で盛大な歓迎をしていただいたことへの感謝とお礼の言葉を述べて会を終えました。後日、市川町から長きにわたる交流の記念品として、両町村マスコットキャラクターが印刷されたフロアマットをいただき、役場庁舎入口に設置する予定となっておりますので、役場にお越しになった際には、ぜひご覧ください。



鶴居村ふるさと創生中学生派遣交流事業について

1 交流の始まり

学校名が同じという縁から、村内の中学2年生を対象に、鶴居村ふるさと創生基金を活用して中学生派遣交流事業が始まった。

2 目的

他地域の文化や歴史の視察、伝統行事体験や地域の方々との交流を通して、これからの将来を展望できる創造性豊かな人材を育成する。

3 交流実績

- ・ 交流期間：平成12年から令和3年まで(令和2～3年度は中止)
- ・ 派遣人数(生徒)：564人
- ・ 交流先 兵庫県市川町立鶴居中学校
- ・ 視察先 人と防災未来センター、姫路城、屋形区地蔵盆、神戸市内、市川町内他



えばらの森 かぶとむしドーム



姫路城



屋形区地蔵盆



令和3年

FOREVER



20年間本当にありがとうございました

毎年4月2日は世界自閉症啓発デーです(4月2日~4月8日は発達障害啓発週間)

2007年12月の国連総会において、全世界の人々に自閉症を理解してもらう取り組みを進めるため、毎年4月2日を「世界自閉症啓発デー」とすることが決議されました。日本でも、毎年、世界自閉症啓発デーの4月2日から8日までの1週間を「発達障害啓発週間」として、自閉症をはじめとする発達障害について広く啓発する活動が行われています。

発達障害って、なんだろう？

発達障害は、広汎性発達障害(こうはんせいはいったつしょうがい)、学習障害、注意欠陥多動性障害など、脳機能の発達が関係する障害です。発達障がいのある人は他人との関係づくりやコミュニケーションなどがとても苦手ですが、優れた能力が発揮されている場合もあり、周りから見てアンバランスな様子が理解されにくく、また、その行動や態度は「自分勝手」「変わった人」「困った人」と誤解され、敬遠されることも少なくありません。その原因が親のしつけや教育の問題ではなく、脳機能の発達の関係するものだと周囲の人が理解すれば、接し方も変わってくるのではないのでしょうか。発達障がいの人たちが個々の能力を伸ばし、社会の中で自立していくためには、子どものうちからの「気づき」と「適切なサポート」、そして、発達障害に対する私たち一人ひとりの理解が必要です。

発達障がいのある方に接する時の配慮は？

障害の種類や程度、年齢や性格によっても、特性の現れ方は違い、生活の中で困難なこと、苦手なことも違います。そのため、一人一人の特徴に応じて配慮したり、支援したりしていくことが重要です。ここでは配慮していただきたい基本的なポイントをいくつかご紹介します。

- ◆ほかの人が簡単にできることもうまくできないことがあります。努力している点やうまくいっている点をほめたうえで、できなかったところはどのようにすればもっとよくなるかを肯定的、具体的に伝えます。
- ◆言葉だけでなく、目でみてわかる情報(写真や絵)を添えて説明すると理解しやすいと言われています。また、あいまいな表現を理解するのが苦手なので、短い文で一つずつ順を追って、具体的に話をします。
- ◆人混みや大きな音、光などの刺激を苦手とする方が多くいます。不快感を大きくしないよう安心できる環境をつくってあげましょう。
- ◆暗黙の了解や社会のルールがわからないことがあります。いけないことや迷惑なことははっきりと伝えます。ただ注意したり、叱るだけではどうしたらよいかわからないので、具体的な方法を伝えます。

子どもが騒いだり、パニックを起こしたりしているとき、「なぜ親は叱らないんだ」と思う方もいらっしゃると思います。しかし、発達障がいのある子の中には、少し時間をおき待ってあげることで、早く混乱から抜け出せることもあります。周囲の方にこうした知識があるだけで、本人も家族も少し楽になれます。皆さんも、これを読んでいただいたことをきっかけに、自閉症をはじめとする発達障害についての理解・知識を深めてみませんか？

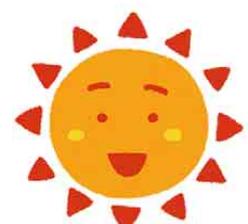
参考：内閣府大臣官房政府広報室 政府広報オンライン「発達障害って、なんだろう」

「おひさま親の会」について

鶴居村では、障がいのあるお子さんや発達等が“気になる”お子さんを抱える保護者の方たちが集い、互いに支え合いながら、成長し合う場として「おひさま親の会」を定期的で開催しています。子育てをしている中での「困り感」や「悩み」など、日ごろ抱えている思いを一緒にお話できる場です。

令和4年度の開催日程については、今後広報やIP告知端末でお知らせする予定です。初めてご参加される方は一度役場の保健師までご連絡ください。

鶴居村役場保健福祉課 保健師 0154-64-2116





令和4年 春の火災予防運動の実施について

消防では4月20日（水）から30日（土）まで、全道一斉に春の火災予防運動を実施します。
これからの季節は空気が乾燥し、火災が発生しやすくなります。火災の発生を未然に防ぐため、次のことについて注意し火災予防に努めましょう。

住宅防火 いのちを守る 10のポイント 4つの習慣・6つの対策

《4つの習慣》

- 寝たばこは、絶対やめる。
- ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。
- コンセントは定期的に清掃し、不要なプラグは抜く。

《6つの対策》

- ストーブやガスこんろは安全装置の付いた機器を使用する。
- 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防炎品を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
- お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。
- 防火防災訓練へ参加し、地域ぐるみの防火対策を行う。



全国統一防火標語
『おうち時間
家族で点検
火の始末』

※鶴居村でも、毎年のように屋外でのゴミ焼きから火災が発生しています。

農林業を営むための焼却以外の野焼きは法律で禁止されていますので、屋外でのゴミ焼き・野焼きはしないようにしましょう。

住宅用火災警報器の点検を実施しましょう。

住宅用火災警報器の設置が義務化されてから約15年が経過しました。

警報器の電池寿命は10年が目安で、電池切れが原因で警報音が鳴らないことがあります。

また、警報器本体についても経年劣化や設置場所の環境（ホコリが多い場所など）により正常に感知しないおそれがあります。万が一の際に作動しないことが無いように定期的に作動確認をしましょう。

※電池切れなど正常に作動しない警報器は、本体の交換をしてください。

1年に1回必ず
点検しましょう



鶴居村防火標語 『大丈夫 火災報知器 何年目？』

ご不明な点やご相談がありましたら鶴居消防署（☎64-2344）までご連絡ください。

消防キッズフェアについて

消防キッズフェアについて、今後の新型コロナウイルス感染症の感染状況等を踏まえながら開催の有無を決定しますのでご理解願います。

なお、開催が決まり次第、「広報つるい」やIP告知端末等でお知らせします。

みんなの掲示板

人口の動き (前月比)

※令和4年2月末時点

総人口	2,488人 (+7)
男性	1,248人 (+4)
女性	1,240人 (+3)
うち外国人人口	34人 (±0)
世帯数	1,195世帯 (±0)

死亡事故ゼロの日

2,300日 (2月末時点)

お誕生おめでとう! (2月届出分)

岩井 悠莉ちゃん 女の子 鶴居市街
関根 咲和くん 男の子 下幌呂

議会情報

第1回鶴居村議会定例会

今定例会は3月8日から11日、15日の会期5日間で開かれ、議案23件、議案4件について審議が行われ、原案のとおり議決されました。

議案第4号 専決処分の承認を求めることについて

(令和3年度鶴居村一般会計補正予算について)

議案第5号 鶴居村個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について

議案第6号 鶴居村特定個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について

議案第7号 鶴居村職員定数条例の一

部を改正する条例の制定について
議案第8号 鶴居村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

議案第9号 人権擁護委員候補者の推薦について

議案第11号 村道路線の廃止について

議案第12号 村道路線の認定について

議案第13号 令和3年度鶴居村一般会計補正予算について

議案第14号 令和3年度鶴居村特別会計補正予算について

議案第20号 令和4年度鶴居村一般会計予算について

議案第21号 令和4年度鶴居村特別会計予算について

発議案第1号 シルバー人材センターに対する支援を求める意見書の提出について

発議案第2号 燃油価格安定を求める意見書の提出について

発議案第3号 地域における医療提供体制への十分な支援を求める意見書の提出について

発議案第4号 ロシアによるウクライナへの軍事侵略に対する決議について

問合せ先 鶴居村議会事務局
0154-64-2511

採用情報

令和5年度釧路管内町村職員採用資格試験 (大学卒)

●受付期間 令和4年4月15日 (金) から同年6月3日 (金) まで

(郵送での申し込みは6月3日付けの消印まで受け付け)

●第1次試験日 令和4年7月10日 (日)

●試験会場 釧路センターリキヤッスルホテル予定

●受験資格 平成6年4月2日から平成13年4月1日までに生まれた方

●第1次試験合格発表 令和4年8月8日 (月)

●その他 新型コロナウイルスの感染状況により試験日程や試験場所が変更となる場合があります。

●申込み・問合せ先 鶴居村役場総務課

0154-64-2111
釧路町村会
0154-43-0649

注意

山菜取りによる事故の防止

4月に入ると山菜を求めて入山する方が増え、山で道に迷ったり、沢に転落するなどの事故が発生します。入山する際はなるべく複数で、家族に行き先を伝える、目立つ色の服を着用する他、携帯電話を所持し、自分の体力や天候等に合わせた行動を心掛けましょう。

●問合せ先 釧路警察署 23-0110

電柱にカラスの巣を見つけたら ほくでんネットワークまで ご連絡ください

春から初夏にむけてカラスの巣作り

が盛んになり、市街地では電柱にも巣がつくられます。巣の材料には、ハンガーや針金などの金属が使われることもあり、この金属が電線に触れると停電の原因となる場合があります。電柱にカラスの巣を見つけたときは、北海道電力ネットワーク(株)までご連絡ください。

●問合せ先 北海道電力ネットワーク(株) 釧路支店

0120-06-0669

人事異動

役場人事異動

《4月1日付》(退職者は3月31日付)

【総務課】

▽課長補佐兼総務係長兼情報推進係長(兼任) 選挙管理委員会書記 新木康司(課長補佐兼情報推進係長(兼任) 選挙管理委員会書記)

▽総務係主査兼情報推進係(兼任) 選挙管理委員会書記 佐々木大喜(住民生活課保険年金係主査兼税務係)

▽情報推進係兼管財係(兼任) 選挙管理委員会書記 長岡翼(新規採用)

【企画財政課】

▽むらづくり推進係主査兼企画調整係兼財政係 西村豪祐(北海道研修派遣)

▽企画調整係 堀尾郁希(企画調整係兼むらづくり推進係)

【住民生活課】

▽課長 高岡健一郎(課長兼保険年金係長)

▽保険年金係長 松井香奈子(総務課総務係長(兼任) 選挙管理委員会書記)

【保健福祉課】

▽健康推進係 松本健太郎(村立鶴居

診療所庶務係)

【産業振興課】

▽参事 澤井亨欣(北海道より派遣)

▽林政係長 黒崎浩史(環境省北海道

地方環境事務所釧路自然環境事務所出

向から復帰)

▽商工観光係 小玉聖亜斗(新規採用)

【教育委員会管理課】

▽課長補佐兼総務係長兼学校教育係

清野玲子(総務係長兼学校教育係長)

▽総務係兼学校教育係兼社会教育課社

会教育係兼図書館利用サービスク

池優斗(図書館利用サービスク係兼社会

教育課社会教育係兼管理課総務係)

【出向・派遣】

▽鶴居村社会福祉協議会派遣 松尾昭

夫(産業振興課林政係長)

▽環境省北海道地方環境事務所釧路自

然環境事務所出向 古川徹(総務課情

報推進係兼管財係)

【退職】

瀬川敏明(村立鶴居診療所長)

川島泰文(鶴居村社会福祉協議会派遣

(事務局長)

【再任用】

▽総務課主任専門員 川村公基(新規

▽建設課主任専門員 山本晴義(継続)

教職員等人事

《転任・退任》 () 内は新任校

【鶴居小学校】

鈴木京典教諭(標茶町立標茶小学校)

稲村怜奈教諭(浜中町立茶内小学校)

中野彩加栄養教諭(弟子屈町立弟子屈

中学校)

門馬由香期限付教諭(釧路市立昭和小

学校)

【幌呂小学校】

水澤好克校長(標茶町立虹別中学校)

佐久間研教頭(鶴居村立幌呂小学校)

【下幌呂小学校】

土居慎也校長(釧路市立桜が丘小学校)

石川良和教諭(鶴居村立幌呂小学校)

明見英里香教諭(釧路市立芦野小学校)

谷口雅美教諭(鶴居村立鶴居小学校)

【鶴居中学校】

小杉山有生教諭(標茶町立虹別中学校)

工藤愛弥期限付教諭(網走市立第四中

学校)

鈴木加奈事務職員(育休等)

【幌呂中学校】

千田充教頭(標茶町立中茶安別中学校)

永田美和教諭(釧路市立青陵中学校)

木ノ内賢治教諭(釧路市立幣舞中学校)

村山恵子養護教諭(任期満了)

野澤弘平事務職員(厚岸町立太田小学

校)

《着任》 () 内は前任校

【鶴居小学校】

谷口雅美教諭(鶴居村立下幌呂小学校)

吉田笑利期限付栄養教諭(千歳市立信

濃小学校)

駒谷朋美期限付教諭(釧路町立遠矢小

学校)

【幌呂小学校】

佐久間研校長(鶴居村立幌呂小学校)

櫻井順教頭(釧路市立鶴野小学校)

石川良和教諭(鶴居村立下幌呂小学校)

【下幌呂小学校】

長谷川順子校長(釧路教育局)

柿沼香緒里教諭(釧路町立知方学小学

校)

石井桃子教諭(厚岸町立太田小学校)

石川朋弘教諭(釧路市立東雲小学校)

大島健教諭(標茶町立沼幌小学校)

柴田悠二教諭(弟子屈町立川湯小学校)

【鶴居中学校】
大八木教馬期限付教諭(新採用)

板久美子期限付事務職員(新採用)

【幌呂中学校】

島田桂子教頭(釧路市立景雲中学校)

釧路北部消防事務組合

鶴居消防署職員人事

【昇格・異動】

() 内は異動前の課

名・職名

▽鶴居消防署長(兼)警防管理課長 加

藤博由(警防管理課長)

▽消防司令 予防救急課長補佐(兼)救

急救助係長 池邊智史(消防司令補

予防救急課救急救助係長)

▽消防司令補 警防管理課警防係主査

石井圭(消防士長 警防管理課警防

係主任)

▽警防管理課総務係 渋谷瑛一(警防

管理課警防係)

▽消防士 予防救急課予防広報係 金

岩鷹哉(新採用)

【退職】

▽川村公基(鶴居消防署長)

鶴居文芸

凍原社3月句(俳句)

三月や潦まで光りだす

ミヤノ

三月や賑わいをりぬ写真館

ちえこ

三月のそそぐ日差しにまぶたとじ

公子

三月の墨絵の森に雪白し

春夢子

三月や空の重さも治まりぬ

和子

見えずとも見守られ早や三月来

紀代子

雛祭終えて背に受く陽の強さ

恒子

「村長への手紙」の回答について

手紙の内容

牛乳が余ると聞いていますが、発展途上国や戦争で子供たちが食べ物に困っていると思われる所に、チーズ・バター・ミルクを色々な形で届けてはいかかでしょうか。

村の回答

村では、昨年12月に低迷する牛乳消費の喚起を図るため、全村民に牛乳・乳製品購入券を配布し、その利用率が90%を超える実績となりました。村民皆様の積極的な支援をいただきました。

しかしながら、飲用牛乳の消費や脱脂粉乳などの加工品の余剰状況については、現在も予断を許さない状況にあり、生産者や乳業メーカーは脱脂粉乳などの加工品について農業用飼料への転換促進に加え、海外への輸出などで在庫の削減を図る動きを見せております。

本村としても農協や関係団体などと情報共有し、今後の状況を注視しながら対応を検討していきたいと考えております。

新刊案内

鶴居村図書館だより

館内利用について

新型コロナウイルス感染予防のため、図書館・ふるさと情報館をご利用の方は手洗いや消毒、マスク着用等のご協力をお願いいたします。また、発熱がある等、体調不良の方はご利用をお控えいただきますようお願いいたします。

- 開館時間……10:00～18:15
- 休館日……**4月の休館日は4/26(火)です。**
- 貸し出し……【本・雑誌・紙芝居】
2週間（1人10冊まで）
【CD・VTR・DVD】
2週間
（CD 3点、VTR 2点、DVD 1点まで）

紹介している本は3/30(水)から利用できます。

もっと！魔法のてぬきごはん



てぬキッチン 著
炒めないチンジャオロース、生クリーム不要のクリームチーズカルボナーラ、調味料2つだけの鶏むね肉の南蛮漬け…。簡単だけど、ちゃんと美味しく満足できる、レンジ調理＆フライパン調理のレシピを紹介する。

階段ランナー



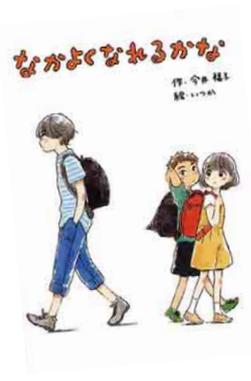
吉野万理子 著
高校2年生の広夢と瑠衣はそれぞれに悩みを抱えていた。しかし社会科教師・高桑のブログを読むうち、階段に魅了されていく。ある日、高桑から「京都駅大階段駆け上り大会」の存在を教えられ…。

怪物



東山彰良 著
広東省上空で撃墜された台湾空軍の偵察機に乗っていた叔父をモデルにした小説で、高い評価を受けた台北出身の作家・柏山。故郷に凱旋した彼は、同行した編集者と関係を持ち…。

なかよくなれるかな



今井福子 作
いつか 絵
小学校の飼育小屋にいるウサギのチュロに会いたいと思っている1年生のれな。でも、いつも怒鳴ったり、怒ったりしている飼育係の6年生のお兄さんがこわくて、会いに行けない。友だちになれるといいね、とママは言うけれど…。

牧野富太郎

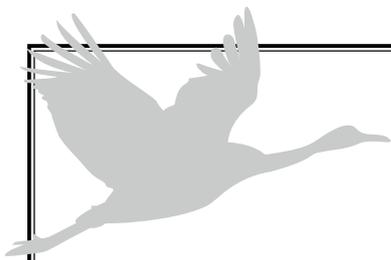


横山充男 著
研究に打ち込むとてつもない情熱。「もっと知りたい」という探求心。わかるまで調べるあきらめない気持ち。西欧の百年遅れといわれた日本の植物学を推し進める行動力…。植物の神様といわれた牧野富太郎の人物伝。

ねこいる！



たなかひかる 著
ねこがいるか、いないか。ただ、それだけ！パン、リコーダー、跳び箱。いないと思ったところにも、ねこはいて…。ナンセンスな展開と言葉の繰り返し、子どもたちの笑いのツボを刺激する楽しい絵本。



「タンチョウの餌づくりプロジェクト」だったかもしれない話

「タンチョウと共生するむらづくり推進会議」の「地域住民のかかわり部会」では、タンチョウ保護の歴史や、村民とタンチョウとの関わりについての記録を残そうと、聞き取り調査を始めました。金沢大学の菊地准教授に講師として来村していただいたり、調査員同士で意見交換をしたりと、より良い形でタンチョウ保護の歴史を残し伝えていこうという思いで、調査を進めています。

11月にお話を伺った雪裡原野の久保田豊市さんは、北海道の給餌人として長年タンチョウ保護のための給餌を続けています。給餌を始めた当時の苦労話もありましたが、苦労を苦労と言わない久保田さん。楽しそうに懐かしそうに当時を振り返る人柄に、鶴居村への郷土愛とタンチョウへの温かな想いを感じました。

久保田さんのお話の中で、給餌を依頼されるきっかけにもなった出来事として、グリーンパークの北側、久保田さんの敷地の南側に接する場所で、鶴居中学校の生徒さんがデントコーンを作っていたという話をお聞きました。時期は昭和40年代中頃、期間は2年間くらいですが、中学生の皆さんが通ってきて、畑でデントコーンを作っていたとのこと。収穫したデントコーンは、もぎ取ってその場に放置され、タンチョウも食べていたとのこと。何故その場所で中学生がデントコーンを作っていたのかは、分からないそうです。そして、中学生がその畑でデントコーンを作るのをやめたタイミングで、鶴居村教育委員会の人から給餌を依頼されたとのことでした。

タンチョウコミュニティが「タンチョウの餌づくりプロジェクト」を立ち上げたのは、平成20年度。当時、我が家の子達が、下幌呂小学校に通っていたこともあり、その活動を見守る中で、なんて斬新な取り組みなんだろうと思っていました。ですが、もし40年も前に、タンチョウのために中学生がデントコーンを作っていたとしたら…!?

タンチョウの餌づくりは、我が家の子達にとって、他の地域にはない特別な活動ということもあり、鶴居村で過ごした子供時代を象徴する良い思い出になっているようです。グリーンパークの北側でデントコーンを作っていた中学生は、もしかしたらタンチョウの餌づくりの先駆者かもしれない。とすると、いったい当時の中学生がどんな思いで作業をしていたのだろうか？ 昭和40年代の中学生と平成の子どもたちの、タンチョウへの想いの違いなども垣間見ることができるのでは？ など興味が尽きません。

現在、65才くらいかなと思われる当時の中学生に、ぜひともお話を聞いてみたいのです。広報をご覧になっている方で、グリーンパークの北側でデントコーンを作っていた、元鶴居中学校の生徒さんはいませんか？ また、デントコーンを作ることになったいきさつなど、当時の詳細を知っている方はいませんか？ 情報提供など、鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ（64-2620）の櫻井まで、連絡を下さい。タンチョウ保護の歴史を紐解く聞き取り調査に、ぜひ、ご協力をお願いいたします。



4月のイベント



日時：4月6日（水曜日）10：00～
鶴居保育園入園式
場所：子どもセンターこすもす

日時：4月7日（木曜日）
村内各小・中学校入学式
場所：各小・中学校

日時：4月12日（火曜日）6：30～
特定健診・がん検診
場所：幌呂農村環境改善センター

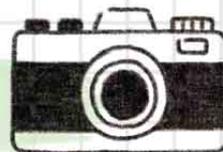
日時：4月13日（水曜日）6：30～
特定健診・がん検診
場所：幌呂農村環境改善センター

日時：4月14日（木曜日）6：30～
特定健診・がん検診
場所：総合センター

日時：4月15日（金曜日）6：30～
特定健診・がん検診
場所：総合センター

日時：4月16日（土曜日）6：30～
特定健診・がん検診
場所：総合センター

今月号の表紙



むらの話題で紹介した「みんなでムーブ リズム運動 動画コンテスト」で審査員特別賞を受賞した動画内1コマです。元気いっぱいな子どもたちの姿は、村公式YouTubeに掲載されています。

寄付

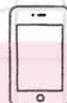
釧路市新野41番11
株式会社釧路厚生社
代表取締役社長 福田 雅嘉 様
村勢の振興発展のため 500,000円

鶴居村鶴居西8丁目9番地
株式会社佐々木建設
代表取締役 佐々木 泰三 様
ふるさと創生中学生派遣事業のため 500,000円

ふるさと納税（2月分）
163件 1,857,000円



地域おこし協力隊の活動はこちらから



インスタグラム



ツイッター



フェイスブック



ユーチューブ

編集後記



何かとドタバタしてしまう3月が終わり、あっという間に新たな年度の始まりです。

令和4年4月は何より成人年齢が20歳から18歳に引き下げられたのが一番の話題ですね。飲酒や喫煙等は変わらず20歳になってからですが、携帯電話の契約やクレジットカードの作成が18歳から出来るようになりました。自分の考えで色々なことが出来るのと同時に様々な責任がついてきます。困ったり悩んだときは周りの大人と相談してから決めましょう(F)

